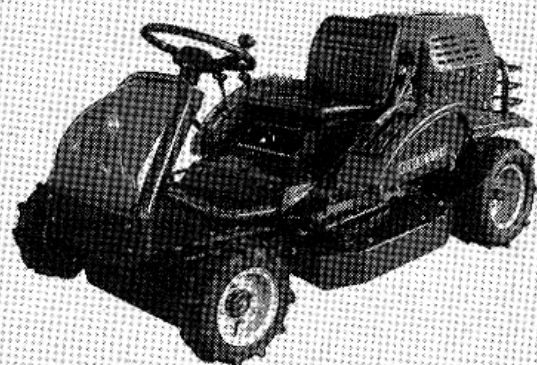


15馬力の安価タイプ登場

乗用草刈機MB915X

悪路でのバタツキ等軽減

フジイコーポレーションの新型乗用草刈機MB915X(15ps、刈幅80mm)が、「使いやすく、高機能ながら、価格も納得価格だ」と、評価が高い。エンジンカバーがコンパクトになったばかりか、スライド調整機能付きシートを装備。機体重心の中央化により悪路でのバタツキを軽減し、などが大きな特長。小売価格は71万9250円(税込)。



15PSの新安価タイプ「MB915X」

フジイコーポレーションの藤井大介社長、新潟県燕市小池285は、常にユーザーの要望を探り入れた商品づくりに力を入れているが、今回の新型MB915Xも、その

ういった流れの一環。【MB915Xの特長】①シートに隠れるエンジンカバーによって、木々の下へギリギリまで入って作業ができる②深いハ

小回転半径が1850mmと抜群の旋回性を実現。狭い圃場でのUターンも楽々③機体全高は860mm、樹木の枝が低く張ったような場所でも効率よく作業ができる④刈高さを無段階に選べるフリーロックレバーを装着。ガスプリング採用

【MB915Xの仕様】▽全長×全幅×全高11830×980×860mm▽機体重量285kg▽刈幅880mm▽刈刃形状11ナイフステアーフリーナイフ×2▽刈高さ10580mm(無段階調節)▽最大作業能率(副変速高時)62a/h▽駆動方式HST(副変速、デフロク付)▽作業クラッチベルト前照灯標準装備(常時点灯)

をエンジンキースイッチに近い、ハンドル部に集中配置することで、更に使いやすくなった。エンジン始動やスロットル調整をストレスなく行うことができる。

また、除雪機の専門メーカーでもある同社は、除雪機についても、ロックスオン投雪機能や新型デイズルエンジンを搭載した大型9SF1235DK2(35ps・除雪幅1200mm)とSF1244DK2(44ps・同)を発表したが、いずれも評価は高い。

この新型は、抜群の除雪能力と優れた操作・安全性に加え、新機能の追加、レバー数の削減で操作性を大幅に向上させたことが大きな特長。発売以来、積極的な営業活動を展開しているが、手応えは予想を上回っており、本格的なシーズンを前に、更に拡販に力を入れている。毎時除雪能力は、SF1235DK2が220㎡、12244DK2が275㎡。